

【2月、3月の活動】

【今後の活動】



1. オンライン勉強会開催

令和3年2月8日（月）
京都大学大学院医学研究科社会
健康医学系専攻健康情報学分野教授
中山健夫氏によります
オンライン勉強会を開催しました。



「新型コロナウイルス感染症」に向き合うために
勉強会にご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。
今回の勉強会では、情報の大切さ、情報を見比べることの
大切さを学び、
また、現在のコロナ禍での情報の取得方法を教えていただき
ました。

2. 情報弱者に対する対応の提言、
関係議員へ配布 令和3年2月

会員の皆様、参考意見ありがとうございました。
こちらの提言は、関係議員からも反響をいただいております。

3. 第3号政文研だより発行
(奇数月に発行致します) 令和3年3月

オンライン勉強会開催

令和3年3月26日（金）
講師：湘南地域県政総合センター所長
野田久義氏
テーマは県の令和3年度の予算ポイント
会費：無料 お申込み可能です

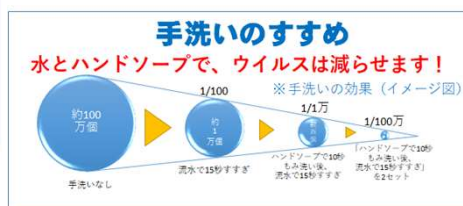
第7回個別経営者相談会開催

令和3年3月27日(土)10時～16時
(面談時間1人50分)
場所 (株)甲斐組
会費 無料

【新型コロナウイルス感染症の予防】



無意識に触っています！



～応援メッセージ～

未だ国民生活に甚大な影響を及ぼしている感染症対策、パンデミックとして現認され間もなく一年が経つ。政府主導による全国一律の感染症対策は当初、地域によって異なる感染状況や必要とされる施策への認識の違いにより混乱した。過去の経験による教訓乏しく、未曾有の疫病対策が招いた混乱の責任を問うことは良しとしない。しかしながら国民の生活及び生命財産を守る為、政府の側に在る者として、施策改善に向けた努力を常に怠ってはならない。

この先、国民は何に困窮し、その為の施策の展開に何が必要なのかを想定するために、タイムリーな課題の把握に努めることが肝要である。

「灯台下暗し」残念ながら施策を講じる側の課題把握能力にも限界がある。今日の国難を乗り越えようとする。前向きな視点を広げた先には、気づくことによって救われる命、損なわれることの無い従来の国民生活が必ずや復興することを念じ、神奈川政経文化研究会における政策提言の活動に心から期待致しております。

気づきの視点を広げる先に

神奈川県議会議員
松田 良昭氏

松田県議会議員からのメッセージ

お読みいただきましてありがとうございます。がとうございました。

至らないところもありましたが無事に3号の編集を終えることができました。

中山教授のオンライン勉強会「新型コロナウイルス感染症に向き合うために」の中で、WHOの情報のお話が出ました、市民への情報を日本語で解り易くホームページに掲載されています。

コロナの怪しい伝説から、最新の状況、感染の情報が確認できます。

次号も暖かく見守っていただけると嬉しく思います。

そして、当会では、今後も定期的に勉強会を企画して参りますので、勉強会のリンクエストなどお願い申し上げます。

山口